



ADRC Highlights Vol.126

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 October 2005

▶ 中国・北京で開催されたアジア防災会議に ADRCが参加、発表

2005年9月27日から29日までの3日間、中国政府主催による「アジア防災会議」が北京市にて、アジア太平洋42カ国と13の国連・国際機関の参加のもと、開催されました。同会議は、ハイレベルセッションとテーマ別セッションで構成され、33カ国の閣僚・準閣僚級をはじめとする延べ385名の防災行政担当や研究者が出席しました。

同会議は、今年1月に兵庫で開催された国連防災世界会議(WCDR)で採択された「兵庫行動枠組」をフォローするために開催されたもので、参加各国・各機関からは、災害状況や防災政策について最新の報告が数多く行われました。アジア防災センター(ADRC)からは、所長の北本、参事の村田、主任研究員の角崎、研究員の河内が出席しました。

まず初日には、中国民政部の李部長(大臣)とUNDP中国代表のMali氏を議長としたハイレベルセッションが開かれ、当センターが発表、所長の北本により総合的な防災政策(TDRM)の重要性やインド洋津波以降の当センターの取組み等について紹介を行いました。また、午後のテーマ別セッションにおいて、当センターの国際復興協力の担当であり、国際防災復興協力機構(International Recovery Platform, IRP)に勤務している参事の村田より、洪水と干ばつ対策について、災害後の復旧・復興の重要性を強調しながら国内外の事例を紹介しました。



最終日の9月29日には、災害早期警戒システムの構築など取り組むべき5つの優先分野をまとめた「北京行動枠組」を採択して、閉幕しました。同行動枠組は、今年1月に兵庫県で開催の国連防災世界会議で採択された「兵庫行動枠組」を踏まえたもので、2015年までに①防災の統治力、②災害リスクの特定と早期警戒、③防災教育、④災害リスクの軽減、⑤復旧への備えの分野において、それぞれ取り組み目標を明示しています。

この件についてのお問合せは、研究員の河内(kochi@adrc.or.jp)まで願います。

▶ 最新災害情報 □ パキスタンでの地震

2005年10月8日朝8時50分(現地時間)にパキスタン北部でM7.6(米国地質調査所(USGS))の地震が発生しました。パキスタンとインド両国の北部ならびにアフガニスタンに大きな被害が出ています。

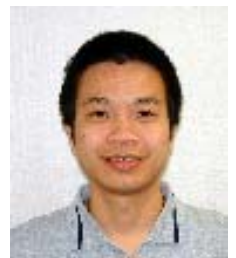
震源地はパキスタンの首都イスラマバードから北北東に95kmでした。

2005年10月12日付国連人道問題調整事務所レポートNo.7によりますと、同地震によるパキスタンでの犠牲者数は、22,288人、負傷者も50,575人と報告されており、今後さらに増える見込みです。また、被災者総数は400万人に達する恐れがあるとされています。

また、余震は10月10日までに140回以上も観測され、そのうち21回はマグニチュード5.0を上回りました。被災地域が、山岳地帯であることや低い夜間気温、インフラ設備の損壊・倒壊などから、緊急救援のための輸送は難航しています。詳しくは、当センターホームページの最新災害情報www.adrc.or.jpをご覧ください。GLIDE番号は、EQ-2005-000174-PAKです。

▶ ベトナムでの台風18号による被害について □ 元ADRC客員研究員グエン・タン・フーン氏からの寄稿記事

2005年9月28日、台風18号(アジア名:ダムレイ)は、ベトナムに甚大な被害を及ぼしました。とりわけ、同国首都ハノイから180キロ北西に位置するイエンバイ省の山間部で発生した鉄砲水や土砂崩れにより、犠牲者数が急増し、死者は50人以上に上りました。我々の政府が管轄している洪水・暴風管理中央委員会によると、20万人以上が避難、10万戸の家屋に被害が出ました。またエビ養殖場も2,200haにわたって浸水被害にあっています。わが国の政府では、早急に被害状況を把握するとともに、全壊家屋に125米ドル相当の緊急援助金を供与するなど応急対策にあたっています。



上記報告は、ADRC客員研究員ネットワーク(AVRN)の活動の一つとして、ベトナム政府農業・農村開発省(MARD)のグエン・タン・フーン氏により寄稿されたものです。詳しくは、当センターホームページに報告書(英語)を掲載しましたのでご覧ください。

http://www.adrc.or.jp/counterpart_report/vietnam_20050929/Damage_storm7_damrey.pdf。GLIDE番号は、TC-2005-000164-VNMです。

▶ お知らせ □ ADRC石井主任研究員が異動

同センターの石井琢三主任研究員が、2005年10月1日をもって、大阪ガスエンジニアリング株式会社ガスエネルギー事業部へ異動となりました。また、同日までに、大阪ガスから中野元、大林組から山本昭、竹中工務店から白鳥隆昭がそれぞれ、当センターの主任研究員に着任いたしました。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by: Asian Disaster Reduction Center (ADRC)
Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone:+81-78-262-5540